

THE KOBECO

JANUARY 1975 NO.165 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可
昭和50年1月1日印刷 通巻165号
昭和50年1月1日発行 毎月1回1日発行



謹賀新年



LADIES SHOP
Beniya
the ladies fashion of the four season. creative beniya

神戸・三宮センター街391-5528・さんちかレディスタウン391-1204 / 大阪・阪急三番街・上本町近鉄百貨店・ミナミ地下センター / 東京・日本橋東急百貨店

新春の装いにミキモトの帯止め。



——世界の宝石店——
MIKIMOTO

神戸店＝三ノ宮－神戸国際会館 TEL.221-0062

●大阪支店＝堂島－新大ビル TEL.341-0247

●京都支店＝河原町御薬師BAL TEL.241-2970

●大阪＝阪急・阪神・高島屋・松坂屋・近鉄アベノ店
・近鉄上六店

©1975-1 株式会社ミキモト

マラケシ カサブランカよりバスで 305 周年 ホテルは 350 円位より
MARAKEST (モロッコ) の広場の、夜 夢人たち。
其の ① 世界で一番楽しい広場也。



もうひとりのあなたとの出会い

ラランシェール

Blanchir

神戸市生田区江戸町95
神戸市役所・花時計裏
☎ 078 (391)4167～8

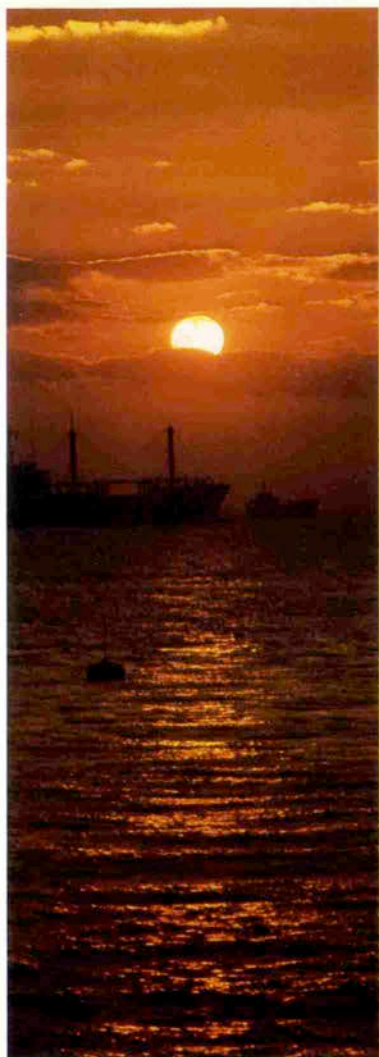


白と黒の館の中をファッションのコーディネートを楽しんでください
あなただけのオリジナルショップです

- ★ファッションアイテムのファンデーションも豊富に揃えております
- ★オリジナルのデザインを——別あつらえも承っております

本物のおしゃれ——
それはファッションから始まります

FANTASY KOBE 1月



あけまして
おめでとう
ございます
新年も
よろしく
お願いいたします

一九七五年 元旦

宝飾店
Tajima
タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表



白金台ダイヤ入り
スカールビー

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に
応じておりますのでお気軽にご利用下さい。
定休日は水曜日です。

今年も力いっぱい歌います

井上和世

〈声楽家・メソソプラノ・カメラ・米田定蔵

声楽家は大きな声でしゃべるといけないんです、と言いながら、声高に滔々としゃべり、かつ、ハッハッハッと屈託なく身体をゆすって笑う。豪放、爛漫。何ことも明るさで吹き飛ばしてしまう。神戸女学院大声乐科卒業後、パリ国立音楽院に学ぶ。受験前に三週間、オランダで勉強。言葉が分らなくて難儀のし通し。家からの便りを読んでほろもしく泣いていた。「音楽院を一等で卒業してからやつと音楽の楽しさが感じられました。ズツと歌を勉強することの厳しさだけを感じていたんですよ」。主にフランス歌曲を手がけている。詩の解釈、構成上の技巧など難しいことだらけ。が、ドイツ、イタリア、そして、将来は日本歌曲もと夢は大きい。「今日ある私は皆さまのおかげです。下里智恵子、福沢アクリビ、ジャニーヌ・ミショー、ジャンヌ・バダール、河本喜介の先生方、そして、ピアノを弾いてくださる松本令子さん。みなさんの励ましのおかげです」。昨年、兵庫県民小劇場で初リサイタルを開いた。この二月には再びフランスへ。再度山大竜寺住職の長女。二十九歳。より一層頑張つて欲しい。〈松本さん宅にて〉



謹賀新年

新しいということは
いつまでも

古くならないということです

新しいということは

何かを

とらえようとする心です

今年も一年

皆様のアドバイザーとして

店創りにはげみたいと思います。

企画 設計 施工

ご予算のことからご相談下さい。

ナウな感覚と

洗練されたセンスで

お店の繁栄をお約束します

ゆたかな街づくり

ファッション神戸を目ざして

神戸日建は前進します



店舗づくりのプロフェッショナル

信頼される



株 神戸日建

神戸市葺合区御幸通3丁目1

PHONE 078(251)3525(代)

「新たな飛躍のために」

宮田喜夫

〈神戸青年会議所理事長 カメラ・米田定蔵

地域に根ざした社会活動を充実させている「社団法人神戸青年会議所」（神戸JC）。40才停年という約束のため二八〇人のメンバーは全員昭和二ヶタ生まれで埋まった。来年は私も卒業の年だが……と今年の理事長に選ばれた宮田喜夫さん（39才）。抱負を、と問うまでもなく確実な言葉がよどみなく口をついて出る。周到さ。

「JCもずいぶん大きくなって会員間に不公平がないわけじゃないし、ここらで社会と人間の開発というJCの根本を確かめて、組織内の再充実を図りたい。次代の大きな飛躍にそなえる年になれば……」。派手ではないが、熱意は十分。昭和38年JC入会以来、月々の例会は出席率100パーセントというまじめな人柄は話してすぐ知れる。JCの新年は今年も確かな一歩になるに違いない。（株）宮田組専務。

〈神戸文化ホールで〉





新春の装いは ファッショナブルな 格調ある〈コベック〉へ

服飾のロビー
Covec

湊川公園 パークタウン2F TEL 521-1789

女の服飾 **クロタ**

湊川パークタウン1F TEL 511-4067

森田芳秋 七三三—四七二六
(28ページもごらんください)



明けまして
おめでとうございます
本年も倍旧のご愛顧を
お願い申し上げます。

昭和50年 元旦

レストラン・ナイトクラブ

神戸 **北野 クラブ**

神戸市生田区北野町1 64 TEL(078)231 2251

レストラン

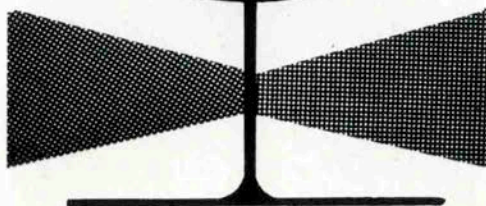
神戸 **ブランドゥブランド**

神戸市生田区京町77 1神栄ビル7F TEL(078)321 1455

東京 **ストックホルム**

東京都港区六本木6 11 9
スウェーデンセンター
TEL(03) 403 9046

A
HAPPY
NEW
YEAR





貫通を祝して喜びの握手を交わす宮崎神戸市長佐と浅井神戸市会議員

コウベスナップ

新神戸トンネル貫通！



新神戸駅側の坑口

昨年11月15日、新神戸トンネルが貫通した。午前10時30分、宮崎神戸市長によって発破のスイッチが押され、大音響があたりにとどろく。作業員が確認へ走る。しばらくして、貫通の連絡。“やったあ！”拍手と万歳の声が暗い地底に明るく響きわたった。

新神戸トンネルは、新神戸駅と北区山田町の箕谷を結ぶ全長6・91キロ、幅8分の二車線で、この日貫通した地点は、南坑口から3・47キロ、北坑口から3・44キロのほぼ真ん中の地点。

昭和46年10月の工事着工以来、神戸市道路公社が担当、ほぼ3年で1本のトンネルとなり、このあと、昭和51年3月の完成を目指して内部の整備を引き続き行なう。このトンネルの完成によって市街地と北神地区は時間の点でゲンと近くなった。



KOBECCO GALLERY (13)

神戸っ子 ギャラリイ

松谷武判

日仏絵画コンクールでコンクール賞を獲得、パリに留学した時、迷わずヘイターのアトリエ17の門を敲いた。(このアトリエ17とは、S・W・ヘイターの工房で、たまたま使用したアトリエの住所番地が17だったのがきっかけでこの名が生まれた。ピカソ、ミロ、ジャコメッティ等の大画家が輩出しており、日本人作家でも斎藤寿一、野間佳子等この門を敲いている者も多く、ほとんどの画家や彫刻家が第一線で活躍している。歴史的にヨーロッパ、日本画壇に重要な要素をもたらし、そして未来に於いて芸術的創造行為と大胆な新しい実験を行って芸術ヘイターは現在73歳。意欲的な仕事に情熱を燃やして芸術に精進している)

—— 第一回東京国際版画ビエンナーレでヘイターの作品がグランプリを獲得たでしょう。あれを見て知っていたから、ほとんど迷わずに……。アトリエ17ではいろんな作家と同じ次元で交流できたし、これはとても貴重な四年間でした。

その間、ヘイターのアシスタントとなり、今はパリに自分の工房をもつ。

—— パリが自分にある。個人個人が自分自身というものを大切にしているんですね。流れの中に自分がある

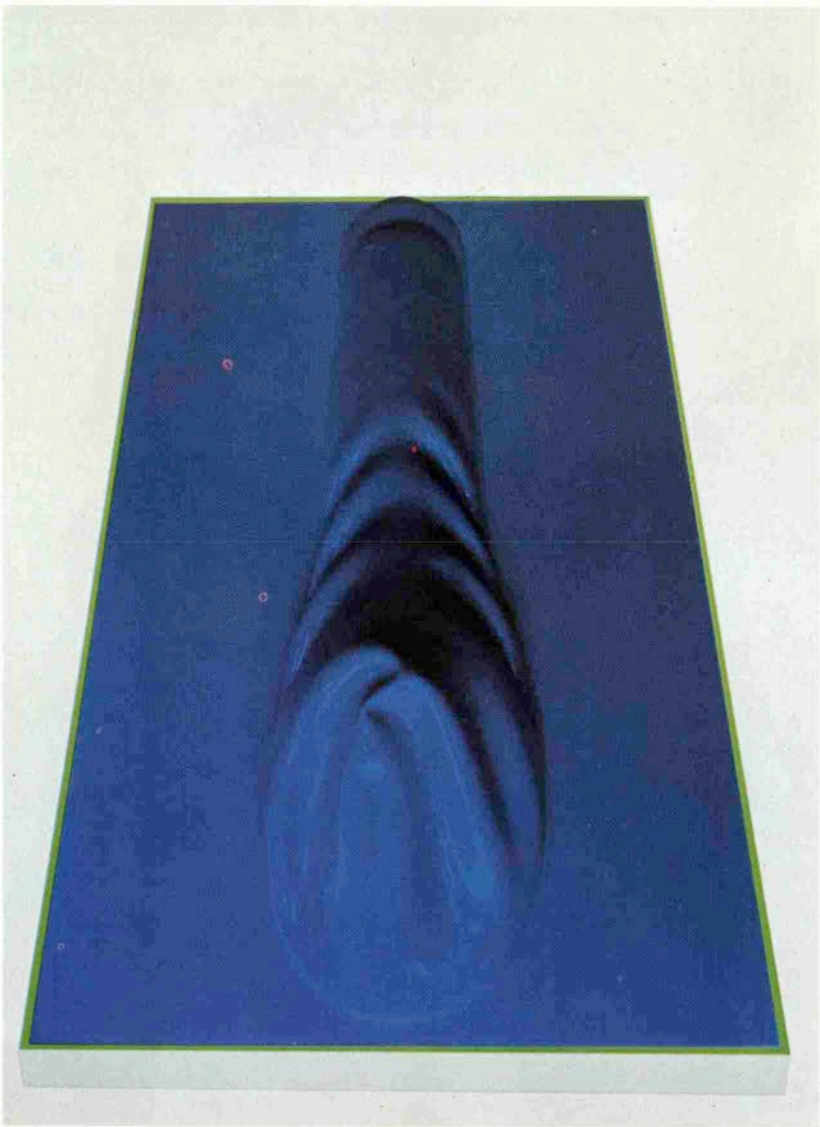
んだけど、とても自由なところがいい。反面、自然にひとりひとりの違いを表現していかないといけないし、極端に精神的なものがあつてこういう作品が存在するという裏付けがなくてはいいけない。そんなところです。

具体美術で活躍していた頃の松谷氏の作品は、ビニール接着剤をつかって平面に凸をつくったり、バンクさんたり……。その絵のイメージを發展させ、シルクに置きかえ色をつけることによりできあがったのは、平面、なおかつ絵とちがつた空間をもつ作品たち。

版画を刷るという作業、これも自分でやるという。刷っているときに、新しい発見をするであらうし、なによりも「自分の型を残す」この気持ち充実させる最大の瞬間でもあらう。刷られた作品に表われた紫や青は、やはり、パリの環境で生まれた紫や青である。

また、たけさ

●一九三七年 大阪に生る ●一九六〇年 吉原治良に師事し第九回具体展より解散出品 ●一九六六年 第一回日仏絵画コンクールにてグランプリを得、機織りアトリエ17で助手をつとめる。現代美術の動向展に出品(京都国立近代美術館) ●一九六八年 第一回パリ版画ビエンナーレに出品(以隣二回出品) ●一九六九年 第九回毎日現代美術展に出品(以降二回出品) ●第八回ユリゴ版画ビエンナーレに出品(以降二回出品) ●一九七〇年 第三回ボーランド、第七回東京国際版画ビエンナーレに出品 ●一九七二年 ヨーロッパの今日の人展に出品(兵庫国立近代美術館) ●一九七三年 ヨーロッパの今日の人展に出品(京都・東京国立近代美術館) ●一九七四年 世界版画コンクール展にて第一部門入賞(サンフランシスコ) ●一九七四年 第四回イギリス版画ビエンナーレ展にて入賞(ラフワード) 在パリ



繁殖のめ「PROPAGATION-A BLUE DREAM-A」
(第4回イギリス版画ビエンナーレ74年受賞作品)

神戸のディテール

Detail of KOBE ²¹

石阪 春生

写真／杉尾友士郎





New life lady in Kobe



心のおしゃれを 若さにプラス

村上裕子さん

〈甲南大学4年生〉

百人一首を手にする村上裕子さんは、紫水遠州流の西田祥風先生のお作法教室へ二年前に入門したという清楚なお嬢さん。

「西田先生のもとで、お作法とお茶とお花をお稽古してもう三年目。私はとても子供好きで、教育に関心があるのですが、自分に欠けていることを自分自身で身につけて、それが自然に子供たちに伝わるのが大切なことではないかしらと思って始めました。お作法を通して“心のおしゃれ”がいかに大切なことかととても勉強になります。

コトブキのいろいろあるお菓子のなかでは特にラングドシャーが、あっさり、サラッとして甘さがきつなくて大好きですの」と微笑んだ。

●コトブキお菓子マンスリー(1月)
甘さを押えたシュガーレスケーキ
《ダニエル》



新しいダニエルはレディの人気者です。

お菓子の  コトブキ



書／山田無文



エメラルドダイヤ入り帯ノ

あけまして おめでとう ございます
心の宝石を大切に……

昭和50年 元旦



トア・ロード

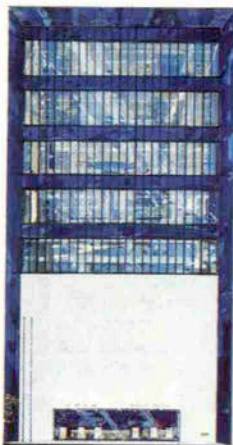
タカタ宝石

〒650 高田 利彦
神戸市生田区北長狭通2-161-1
tel 078・391・4105

「真珠と宝石への深い愛の結実のために」

東京田崎ビル11月27日 OPEN

このたび、創立20周年を迎え、日頃の皆様方のご支援の賜ものとして、東京田崎ビルが誕生しました。真珠と宝石のギャラリーを中心に、東京におけるタサキの全サービス部門が結集したジュエリーののための総合ビル。わたくしたちはこのビルを、タサキとお客様方の「真珠と宝石への深い愛を結実させるために」、その拠点としたいと願っています。そして、美しいものを愛する者同志の親しい対話の場でありたいものです。ギャラリーには、タサキの熱烈な愛をこめたオリジナル・ジュエリーの数々を豊富に展示してあります。また、宝石の鑑別、クリーニング、リフォームなどどんな小さなことでもご相談を承ります。赤坂溜池交差点近く、大理石のフレームに嵌まったシンプルなビルです。どうぞお気軽にお立ち寄りください。田崎真珠 **TASAKI PEARLS**



東京田崎ビル 東京都港区赤坂1-3-3 TEL586-7411

1 月 目 次

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帖です

表紙／小磯良平(部分)

セカンドカバー／中西 勝

7 神戸っ子'75／井上和世／宮田喜夫

11 ある集い／ひろグループ

13 コウベスナッブ

14 神戸っ子ギャラリー(13)／松谷武利

16 神戸のデイトールへ(1)／石阪春生／カメラ・杉尾友士郎

23 わたしの意見／坂井時忠

25 随想三題／大橋良三／中村 隆／本城由美子

28 ある集いその足あと／ひろグループ

30 れんさいずいそう／天女・童女・阿呆／藤本義一

32 神戸情話(7)／ワンナイト声屋／矢崎泰久

34 ある現代美術家の非芸術的レポート／河口龍夫

36 いんたびやう／私は写真屋／寺山修司

39 新春対談／わが青春、わが神戸

阪本 勝／朝比奈隆

45 経済ポケットジャーナル

46 技術ジャーナル／諸岡博熙

48 新春特集 昭和五十年の神戸五つの提言

／ポートアイランド／明石架橋／フアッション都市

／芸術大学／福祉都市への総合調査を

60 座談会／フアッション都市に賭ける神戸の未来

宮崎辰雄／畑専一郎／木内 衛／松谷富士男

坂野淳子／森本泰好／河野忠博

68 神戸フアッション情報

70 神戸百景／カメラ・小山 保

102 コンニチワ神戸／ポルトガル

106 動物園飼育日記／亀井一成

110 神戸のアーバンデザイン・モダンリビング／水谷頼介

112 神戸を福祉の町に／在宅障害児の訪問教育／橋本明

114 プロフェッサーの研究室／岡田 淳

117 神戸の集いから

118 もうさんをめぐる神戸っ子たち／たかはしもう

123 今月の催物ご案内

124 心にくるOLD KOBE／あおば しげる

126 ニューヨークからの便り／竹田洋太郎

128 淀長立見席／淀川長治

130 女性百景／H・ジュニア

135 神戸百店会だより

136 ポケットジャーナル

141 連載小説 まだ遅くない／葉月一郎／え・小西保文

156 ポエムドコウベ／三浦照子

158 海船港／コマンドランビエル入港

カメラ／米田定藏 藤原保之 立山 章



無題 河口龍夫



GLAD TO SAY A HAPPY NEW YEAR



あけまして
おめでとう



◆昭和五十年 新春

◆今年もよろしく願います

◆正月は四日より営業いたします

●一月四・五日は午前十一時～午後六時

東京・ギンザ

San-ai | 三愛

三宮店 センター街さんプラザビル2・3F
AM11:00～PM8:00 ☎391-6861